

アルツハイマー病新薬レカネマブ（レケンビ®）投与に関して

2023年12月、アルツハイマー病の進行抑制効果のあるレカネマブが発売され、当院でも投与準備が完了いたしました。新潟市以外の下越地域では当院でのみ導入可能です。投与ご希望の場合はかかりつけ医にご相談の上、脳神経内科に紹介していただきますようお願いいたします。必ず、ご家族、介護者同伴での受診をお願いいたします。

本薬剤の使用に当たり、厚生労働省から「最適使用推進ガイドライン」が発出され、対象者、使用法などが厳格に規定されております。そのため投与に至らない場合もありますことをあらかじめご了承ください。

最適使用推進ガイドライン 投与対象となる患者（一部抜粋、改変）

- 認知機能評価 MMSE スコア 22点以上
- 臨床認知症尺度 CDR 全般スコア 0.5 又は 1
→ 軽度認知障害（MCI）及び軽度の認知症
- MRI 検査が実施可能（例：金属を含む医療機器を植込み又は留置した患者は不可）
- 上記を確認した上で、アミロイド PET 又は脳脊髄液（CSF）検査を実施し、A β 病理を示唆する所見が確認されていること。

上記ガイドラインを踏まえ、実際に投与対象となる方は、

- いわゆる軽い物忘れの方。（物の名前が出にくい、置き忘れが増えた、薬の飲み忘れが増えた、仕事のミスが増えた、意欲低下、趣味や外出に対して消極的、などの症状を認める方）
- MRI 検査が可能で、2週間に1度当院で1時間点滴投与ができる方
- 認知症以外の病気は落ち着いている方

以下のような患者様は適応外となります。

- 認知機能低下を説明できるアルツハイマー病以外の原因がある方
- 1cm を超える脳出血の痕跡がある。
- MRI 撮影ができない方。
- 2週間に1度、当院へ通院できない方。
- 重度認知症の方（日付や場所がわからない、食事を食べたことも忘れるなど）